

みなさん、おはようございます。

さて、今日のこの日を楽しみにしていた人もいたかもしれませんが、あの大谷選手がプレゼントしてくれたグローブが、浮野小学校にも届きました！

大谷選手については、よく知っている人もいますが、どんな人なのか、何がすごいのか、あらためて紹介します。

大谷翔平選手は現在29歳。橋先生と同じ年です。野球を始めたのは小学校3年生の時。小学校、中学、高校と、ピッチャーとして全国大会に出場するなど活躍しましたが、今のようなものすごい選手ではなく、けがにも苦しんだようです。

でも大谷選手のすごいところは、「日本一の野球選手になる」という、大きな目標を持ち続け、そのために自分は今何をしなければいけないのか自分の頭で考え、それを紙にたくさん書き、やり続けたことです。例えば「ボールのスピードを速くする必要がある。そのために、足や肩を鍛え、体重を増やそう。」とか、「ねらったところに投げられるようにしなければいけない。そのためには、いつも同じ投げ方で投げることや、不安をなくし自分の気持ちを自分でコントロールすることが大事だ。」などです。おもしろいのは、「あいさつをする」「ごみ拾いをする」「道具を大切に使う」などの、一見野球と

関係ないようなことも大切だと信じて、それをやり続けたそうです。

その後大谷選手は、日本のプロ野球選手として5年間活躍した後、世界中の野球選手があこがれる、アメリカの大リーグでも大活躍。MVPという、1年間で一番活躍した選手に贈られる賞を2回ももらっています。日本一どころか、世界一と言ってもいい、ものすごい選手になったのです。

ところで大谷選手は、日本でもアメリカでも、「二刀流」の選手として有名です。「二刀流」とは、ピッチャーとしてだけでなく、バッターとしても試合に出て活躍することです。普通の野球選手は、ピッチャーは投げる練習を、バッターは打つ練習を何時間も行うので、両方ともやろうなどと考える人は今までだれもいませんでした。大谷選手が二刀流に挑戦すると言ったとき、ほとんどの人は「そんなことできるわけがない」「アメリカ大リーグをなめている」「ピッチャーかバッターかどちらか一つに集中すれば活躍できたかもしれないのにもったいない」などと言いました。でも大谷選手は、周りの人が何と言おうが気にしません。高校生の時と同じように高い目標も持ち続け、その目標に向けて自分がしなければいけないことをずっとやり続けました。そして、世界中の誰も見たことがない、ピッチャーでもバッターでも

世界最高レベルの選手になったのです。

そんな大谷選手が、日本にある約2万の小学校すべてに、グローブを3個ずつプレゼントすると発表しました。これはすごいことです。こんなことは、日本では、今までだれもやったことがありません。二刀流と同じです。確かに、大谷選手の給料を考えれば、これだけのお金を払うのは難しいことではないかもしれませんが。でも、もし校長先生が大谷選手と同じぐらい給料をもらっていたとしても、こんなことはできません。それができてしまう大谷選手は、とても勇気と行動力があって、本当に心の底から野球を愛しているんだなと思います。

ここに、グローブと一緒に贈られてきた、大谷選手からのメッセージがあります。大谷選手の思いを考えながら聞いてください。「私は、この3個のグローブが私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが私が充実した人生を送る機会を与えてくれたからです。みんな、野球しようぜ！」

大谷選手は、日本中の子どもたちに、夢と希望を与えたい、そして、野球というスポーツに興味をもってほしいと言っています。この後、各クラスで大谷選手のグローブを触ったり、手にはめたりして、大谷選手の思いを感じてください。

